

# 幼保小の協働による「架け橋期」の教育の充実に向けた取組について

R7.23  
幼児教育センター

## 1 幼児教育と小学校教育の比較

	幼児教育 (幼稚園・保育所・認定こども園)	小学校教育
教育の目標	「感じる」「気づく」「工夫する」「興味をもつ」「関わる」等の <b>経験を重視</b>	「～できるようになる」「わかるようになる」等の <b>目標への到達度を重視</b>
教育の方法等	<b>遊びを通した総合的な指導</b>	各教科等の目標・内容に沿って選択された <b>教材による授業</b>
要領等	幼稚園教育要領等 <b>5領域</b> からなる「ねらい」と「内容」	小学校学習指導要領 <b>各教科等</b> における目標及び内容
共通	一人一人の <b>資質・能力を育てていく</b> よう教育内容等を組織的かつ計画的に編成 「 <b>主体的・対話的で深い学び</b> 」の実現	

課題 ▶ 半数以上の園が行事の交流にとどまり、**資質・能力をつなぐカリキュラムの編成・実施が行われていない**（幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引き（初版）より）

## 2 「架け橋期」のカリキュラム

架け橋期：5歳児から小学校1年生までの2年間（0～18歳の学びの連続性に配慮）



【竹田市】**文部科学省指定（R4～6年度）**  
 ・「架け橋期」の**カリキュラム開発モデル地域**  
 ・全国19か所、**九州では竹田市のみ**  
 ・**南部幼小モデルプラン**（幼児教育センターHP掲載）

**「架け橋期」のカリキュラム**  
 幼保小の先生が**共通の視点**をもちながら**相互の教育内容や教育方法の充実を図るため協働して作成する「架け橋期」のカリキュラム**

	公立幼稚園	私立幼稚園	保育所	認定こども園
架け橋期のカリキュラム作成率	6%	14%	12%	17%
県全体の作成率 (作成園/全園数)	<b>13% (56園/426園)</b>			

(R6 幼児教育の振興・充実に係る調査)

## 3 大分県幼児教育センターの市町村支援状況

幼児教育センター所属  
大分県幼児教育スーパーバイザーによる支援  
**R6年度 16市町村 計106回**

- ・研修講師
- ・カリキュラム開発会議委員
- ・会議内容等相談
- ・公開保育参観



【玖珠町】大分県指定（R4～6年度）  
 ・「架け橋期」のカリキュラム開発モデル地域

## 4 幼小接続地区別合同研修会

- ・令和元年度より実施
- ・会場は、6教育事務所管内
- ・架け橋期の教育の充実に関する講義、演習、協議等を実施
- ・参加者は幼稚園、保育所、こども園、小学校、県立、行政

参加者	R1	R2	R3	R4	R5	R6	合計(人)
幼稚園	112	WEB 配信	81	102	73	45	413
保育所	82		61	71	63	67	344
こども園	76		75	77	109	121	458
小学校	95		179	196	192	187	849
県立・行政	37		29	16	37	23	122
計	402		425	462	454	443	<b>2186</b>

# 竹田市架け橋期のカリキュラム (南部幼小モデルプラン) Ver.4

期待する子ども像 竹田市教育ビジョン 主体的に学び未来を創造する子ども ~将来の予測が困難な時代において、情報を活用しながら他者と協力し自分の考えを形成していくとともに主体的に学び続ける子どもを育成する~  
◎重点目標：○情報活用能力 ○協働的な学び ○自分の考えを形成する力 ○主体的に学び続ける意欲

遊びや学びのプロセス 遊びや生活を通して総合的に学ぶ  
好きな遊びを見つけ友だちと一緒に遊ぶ  
友だちと協力し考えを出し合いながら試したり工夫したりしながら遊ぶ  
共通の目的に向かって、互いの思いや考えを受け入れながら、自分たちで遊びを進めていく楽しさを味わう  
共通の目的に向かって、工夫し合ったり認め合ったりしながら協同して遊ぶ楽しさや充実感を味わう

園で展開される主な活動 / 小学校の生活科を中心とした単元構成

五領域〈健康・人間関係・環境・言葉・表現〉  
体を十分に動かして、いろいろな運動や遊びに進んで取り組む (戸外で、友だちと一緒にするなど)  
友だちの話を聞き、互いの思いや考えを伝え合いながら、友だちと目的を共有し協同することを楽しむ (考える、伝え合う、工夫する、認め合う、協力する、折り合いをつける、ルールの共有など)  
数量や図形、文字などに親しみ、遊びや生活の中で使う楽しさを感じる  
身近な自然や動植物に興味や関心を持ち、関わる (世話をする、遊びに取り入れる、仕組みに気づくなど)  
絵本や物語などに親しみ、言葉やイメージを豊かにする (絵本、ことばあそびなど)  
様々な出来事や素材に触れ感じたことや考えたことを表現して楽しむ (歌う、楽器を使う、かく、つくるなど)

【はじめのいっぽ】  
◎【わくわくどきどきしょうがっこう】◎  
◎学校・家庭及び地域の生活に関する内容 (1)学校と生活 (8)生活や出来事の伝え合い

【かぞくにここを大きくせよ】◎  
◎学校・家庭及び地域の生活に関する内容 (2)家庭と生活 (8)生活や出来事の伝え合い (9)自分の成長  
☆自立心 ☆社会生活とのかかわり ☆言葉による伝え合い

【もうすぐ2年生】◎  
◎自分自身の生活や成長に関する内容 (8)生活や出来事の伝え合い (9)自分の成長  
☆自立心 ☆社会生活とのかかわり ☆言葉による伝え合い

【かぞくにここを大きくせよ】◎  
◎身近な人々、社会および自然とかわる活動に関する内容 (4)公共物や公共施設の利用 (5)季節の変化と生活 (6)自然やものを使った遊び (8)生活や出来事の伝え合い

【きせつとなかよしあき】◎  
◎身近な人々、社会および自然とかわる活動に関する内容 (4)公共物や公共施設の利用 (5)季節の変化と生活 (6)自然やものを使った遊び (8)生活や出来事の伝え合い

【きせつとなかよしのゆ】◎  
◎身近な人々、社会および自然とかわる活動に関する内容 (4)公共物や公共施設の利用 (5)季節の変化と生活 (6)自然やものを使った遊び (8)生活や出来事の伝え合い

【きれいにさいてね わたしのはな】◎  
◎身近な人々、社会および自然とかわる活動に関する内容 (7)動植物の飼育・栽培 (8)生活や出来事の伝え合い

【おもしろい会】 ◎【みんなで七夕飾りを作ろう】 ◎【秋祭りをしよう】 ◎【お楽しみ会をしよう】 ◎【風を作ってみよう】

【 】は単元名 ◎数字は時間数 ◎ ( ) は内容 ☆は幼児教育からつながる「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」(到達目標ではない)

指導上の配慮事項  
□活動を展開するのにふさわしい環境の構成 (遊具・用具・素材の種類、数量、配置等)  
◇子どもの興味・関心を引き出す導入の工夫  
◇見通しをもったり、振り返りたりできる場を設ける  
◇「どうしたい?」「どうする?」など、子どもの考えを引き出す言葉かけを行う  
◇自分の思いを伝えたり、友だちの考えを聞いたりする場を設ける  
◇見守る、一緒に活動する、共感するなど場に応じた言葉かけや援助を行う  
◇友だちの姿から、良さや気づいたり、刺激し合ったりできるような言葉かけを行う

幼小の連携  
【1学期】幼小交流活動事前・事後の打ち合わせ/互見保育・授業/南部幼小合同研修会/小学校授業公開/幼小合同研修会(ブロック)  
【2学期】幼小交流活動事前・事後の打ち合わせ/互見保育・授業/南部幼小合同研修会/園公開保育/幼小合同研修会(ブロック)  
【3学期】幼小交流活動事前・事後の打ち合わせ/子ども理解の会/「架け橋期のカリキュラム」検証会議

家庭や地域との連携  
幼児教育と小学校教育のつながりや「架け橋期のカリキュラム」等についての理解の促進 (保護者会、入園・入学説明会、学校運営協議会、通信、HPなどで)  
幼「遊びや学びのプロセス」【幼小学びのつながりシート】等発行 (学期ごとに園保護者・学校・地域の園等へ) 小【架け橋期の取組】【幼小の交流】【幼小合同研修会】等についてHPや通信で周知  
竹田市こども「せいかつTOP10」(幼児版)の活用  
「南小っ子 生活の約束」「南小っ子 学習の約束」  
体力づくりプログラム(「たけたん体操」の普及)